

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報

ジェンダー研究

Journal of Gender Studies

第18号

(通巻35号)

■特集 「変動期の東アジアにおけるジェンダー主流化——現状と新たな挑戦」

「ジェンダー主流化」の理論と実践

申 琪榮 1

Uneasy Alliance: State Feminism and the Conservative Government in Taiwan

Chang-Ling HUANG 7

ジェンダー主流化再考——韓国の事例

金 京姫

翻訳 金 美珍 21

ベトナムにおけるジェンダー政策——その実績と課題

ルオン・トゥ・ヒエン

翻訳 雑賀 葉子 33

新自由主義的母性——「女性の活躍」政策の矛盾

三浦 まり 53

2000年代以降の新自由主義・新保守主義とジェンダー主流化

足立真理子 69

ジェンダー政策の要としての女性運動の政治的成長

伊田久美子 71

■研究ノート

20世紀初頭における日本人女子教員の中国派遣

加藤 恭子 73

現代日本の社会経済変化と男性／性の変容をめぐる試論
——「場所」と「ホーム」の視点から

熊谷 圭知 87

■書評

鈴木涼美著、『「AV女優」の社会学
——なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか』

張 瑋容 99

Alison M. Jaggar, ed., *Gender and Global Justice*.

中村 千鶴 103

クレア・マリイ著、『「おネエことば」論』

吉澤 京助 107

長田華子著、『バングラデシュの工業化とジェンダー
——日系縫製企業の国際移転』

太田麻希子 111

澤田佳世著、『戦後沖縄の生殖をめぐるポリティクス
——米軍統治下の出生力転換と女たちの交渉』

土野 瑞穂 115

三浦まり・衛藤幹子編著、『ジェンダー・クォータ
——世界の女性議員はなぜ増えたのか』

雑賀 葉子 119

三部倫子著、『カムアウトする親子——同性愛と家族の社会学』

佐藤 美和 123

ピーター・シンガー著、児玉聡・石川涼子訳、『あなたが救える命
——世界の貧困を終わらせるために今すぐできること』

板井 広明 127

アイリス・M・ヤング著、岡野八代・池田直子訳、『正義への責任』

鈴木亜矢子 131

根村直美著、『現代倫理学の挑戦
——相互尊重を実現するための自己決定とジェンダー』

山本 千晶 135

宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表、『世界の社会福祉年鑑 2014』

佐野麻由子 139

■シンポジウム開催記録

国際シンポジウム記録 研究プロジェクト「サステイナビリティとジェンダー」

館 かおる

菅野 琴 143

■ジェンダー研究センター彙報（H25年度、H26年度）

147

■編集方針・投稿規程

171

■編集後記

173

2015年3月

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター